

働き方改革の一環として大型洗車機を導入。 洗車の作業負荷を軽減し総労働時間を低減

青翔運輸株式会社様

本社 埼玉県北葛飾郡杉戸町鷺巣110-2
営業拠点 5営業所(関連会社含めて9営業所)
トラック台数 約70台(関連会社含めて約120台)

洗車設備 大型洗車機、
スプレー式洗浄機8台
(関連会社含む)



埼玉県を中心に5営業所と4関連会社を有し、さまざまな輸送に対応している青翔運輸株式会社様は2019年1月、ドライバーの働き方改革の一環として野田営業所(千葉県野田市)に同社初となる大型洗車機「カミオン カスタム」を導入しました。

従来はリモコン操作が必要な手動式の洗車機を使用



野田営業所に設置した大型洗車機。洗浄とコーティングをわずか5分で行えるため、他の営業所から野田営業所に来て洗車を行うドライバーもいる。

青翔運輸様では10tトラックから2tトラックまで、仕様もウイング車や平ボディ車など約70台のトラックを保有。関連会社を含めると120台体制となっています。

同社では従来、ドライバーが各営業所にある手洗い用のスプレー洗浄機か、野田営業所にあった1本ブラシの手動式の洗車機でトラックを洗浄していました。洗車時間はスプレー式洗浄機で40分～1時間、リモコン操作が必要な手動式の洗車機でも15～20分ほどかかりっていました。また、仕上げのワックスも手作業で行っていたうえ、ドライバーの中には雨の日でも洗車しているという話を聞いた代表取締役の古谷隆之様は、少しでもドライバーの負担を軽減できればとの考えから、同社としては初めてとなる大型洗車機を野田営業所内に設置したものです。

POINT

- 洗車時間大幅削減、10tトラックを5分で終了
- 専用のコインで他社ドライバーの無断使用を防止
- 撥水に優れたコーティング作業も自動化

コーティングで雨天時の視界も良好、融雪剤からの防錆効果も期待



トラックのキャビン部分も丁寧かつスピーディに洗浄(写真左)。コイン(セルフ)仕様の洗車受付パネル。専用コインの投入口は受付パネル下に取り付けてある。



代表取締役の古谷隆之様

野田営業所は物流倉庫の機能も兼ね備えているため、青翔運輸グループ以外のトラックも数多く出入りしています。このため、社外のトラックドライバーの無断使用を防止するため専用のコインを投入しないと洗車できないコイン(セルフ)仕様となっており、洗車機の使用回数の把握にも役立っています。大型洗車機の導入により、洗浄に加えて仕上げ作業も自動化。2つの作業をわずか約5分で終えるようになりました。ワックスより撥水力に優れたコーティング「DUコート」のおかげで雨天時の視界も良好とドライバーからの評判も良く、防汚効果も得られています。また、これから冬を迎えますが本体搭載式の下部洗浄装置により、融雪剤などからの防錆効果も期待しています」(古谷社長様)

同社では、福利厚生の一環として乗用車用の洗車機の採用も検討中。社員のマイカーや営業車の利用を見込んでいます。

COLUMN

下部洗浄でトラックの総走行距離が約1割UP

トラックの寿命を左右するシャーシ。冬場、道路上に散布される融雪剤は塩化カルシウムを含むので洗い落さないと錆を誘発します。下部洗浄装置で融雪剤をキレイに洗い落すことが可能。地域の気候や使用頻度によって違いはありますが、通常100万kmといわれているトラックの総走行距離を防錆効果により約1割伸ばすことが可能です。



高圧水を強力に噴射する自走式の下部洗浄装置

